

『社会で強く生きぬく子どもの育成』

もっと未来へ わくわくする未来へ歩みだそう

学校だより『ふこの』

第006号

令和8年6月30日

大東市立深野小学校

校長 世尾 秀和

◆ふこのフェスティバルを開催しました

6月12日(金)に毎年恒例となっている「ふこのフェスティバル」を開催しました。各学年ともいろいろなアイデアを出し合い、話し合いを繰り返して企画を決め、準備に一生懸命に取り組み、当日を迎えています。みんなで協力して何かを成し遂げる、自分がみんなの役に立てることは何かないかと考えるなど、ふこのフェスティバルは楽しい時間を過ごすだけでなく、自己有用感を高める機会であり、仲間とのよりよいコミュニケーションを学ぶ機会でもあります。

当日は1年生のサポートを6年生が行うことを通し、1年生は6年生に対してあこがれを持ち、6年生は1年生をサポートする責任感を育む場にもなったかと思います。

深野小学校は、教育目標として「社会で強く生きぬく子どもの育成」を掲げています。ふこのフェスティバルなど各種行事を通じて、子どもたちが社会に出た際に必要となる力を少しずつつけていけるよう、今後も行事一つ一つを意味あるものにしていきたいと考えています。

ぜひ、行事ごとにお子さまに称賛や励ましのお声かけを各ご家庭でもお願いいたします。



※ホームページ用に子どもたちの顔はぼかし加工しております。

◆東京での小学校火災を受けて

先日、各ご家庭に SKYMENU クラウドメールでも配信させていただきましたが、東京で発生した小学校での火災事故について、当校においても万一に備えての対応を再確認しております。

今回の火災事故においては報道されている中で、ストーブの使用があったのではないかとということ、校舎の端の教室で避難経路が確保できなかったこと、火災訓練時に想定していない場所からの出火であったこと、消火活動を行ったが消すまでには至らなかったなど、課題もあったかと考え、本校でも確認を行いました。

火災を起こさないことが大前提ではありますが、火災が発生した場合の対応、何より火器取り扱いにおいてストーブなどの有無、保管状況の確認、消火器や消火栓の設置場所の確認、避難経路など、改めて確認しております。

まずは火災自体を起こさないこと、万一発生した場合の対応を適切かつ迅速に行うことなど、今後も消防署の方にもご協力いただきながら、学校の安全確保に努めてまいります。

◆いじめ未然防止への取組み

いじめについては、対応の遅れがないよう、事案の重篤を回避するうえでも、早期発見、早期対応が重要であると考えております。子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、人権教育や道徳教育等を通じて、自己の生き方を見つめ、いじめを許さない判断力と、命を重んじ、自分や他者を大切にできる人間関係力を培う取組みを今年度も継続していきます。

いじめを積極的に認知できるよう、子どもたちの変化に敏感であるとともに、週1回の定期的な課題事項の共有や整理を主要教員とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーも加えて行っております。また、いじめについてのアンケートを定期的を実施し、アンケート結果により、更に詳細な実態把握が必要となれば、個人面談等の取組みも行いつつ、教職員だけではなく、外部人材も積極的に活用し、早期解決を図っていきます。

いじめ未然防止のうえで、「思いやりの心」を育むことも大切であると考えます。日常生活の中で、子どもたちは自分が人から認められたり、役に立てたりする喜びの経験（自己有用感）を積み重ねていくことで、自己肯定感も高めていきます。その認められた経験から生まれた自信によって他者の思いを意識することができ、思いやりの心が育まれると考えています。

LINEなどのSNSの利用課題も見受けられます。各ご家庭でもいろんな場面でお声がけいただき、他人が嫌がることはしない、「思いやりの心」の育むためのご協力をお願いできれば幸いです。

◆お知らせ

新しく深野小学校に赴任した先生のご紹介となります。よろしくお願いたします。

個人情報となりますのでホームページ用に削除しております。